

血統予想の始め方

Text by JIN

目次

血統予想の始め方～今さら聞けない血統の基礎～	3
第1章 なぜ血統予想が魅力的なのか？	4
第2章 血統予想の基礎講座～魅力と欠点～	6
第3章 実践的血統学～4つのメソッド～	8
メソッド① 種牡馬を知る	8
メソッド② 重賞など特定のレースの好走血統を知る	9
メソッド③ コース傾向を知る	9
メソッド④ 馬場を読む	10
第4章 系統まとめ～サンデー系など～	12
サンデーサイレンス系	12
キングマンボ系	12
ミスタープロスペクター系	13
ノーザンダンサー系	13
欧州型ノーザンダンサー系（サドラーズウェルズ系、ニジンスキー系、リファール系など）	13
米国型ノーザンダンサー系（ヴァイスリージェント系、ストームキャット系など）	14
万能型ノーザンダンサー系（ダンジグ系）	14
ロベルト系	15
ヒーロー系	15
ナスルーラ系	15
グレイソブリン系	16
ゴールドルーラー系	16
プリンスリーギフト系	16
ネヴァーベンド系	17
第5章 まとめ	18
メルマガ	18
注意事項	18

血統予想の始め方～今さら聞けない血統の基礎～

競馬に興味を持った方なら一度は「血統」について考えたことがあるのではないのでしょうか？ただ、世の中に血統予想が溢れかえっている一方、実際にどうやって予想に取り入れたらいいか、教えてくれるところはあまりありません。

事実、僕も最初は戸惑いました。『Mの法則』の今井さんや亀谷さんの本を読みあさってなんとか少しずつ理解できるようになりましたが、今考えると初心者にはハードルが高かったなあと思います。

過去の僕のように「血統に興味があるけどなかなか手が出せない」、「複雑で難しい」と思う方のために「血統予想の始め方」について書きました。

まだ競馬を見始めて日が浅いという方でも読める内容になっていると思いますので、興味がある方はぜひ、以下を読み進めて、血統にもっと触れてもらえればと思います。

第1章 なぜ血統予想が魅力的なのか？

まず数ある予想法の中でどうして血統予想がオススメできるのか、書いていきましょう。

競馬はブラッド・スポーツです。血統を知れば知るほど競馬が面白くなりますし、楽しくなります。血統を知ることは競馬の歴史を知ることとほぼイコールなんですね。予想の勉強をしていけば競馬の歴史を知ることができる。まさに一石二鳥というわけです。

そして何より、予想のツールとして優れています。

予想法っていうのは、「過去・現在を見るもの」がほとんどです。

能力予想→過去のレースを見て能力の最大値を比較

調教→過去のレースの走りや調教内容を見て予想

データ予想→過去のデータを見て予想

騎手予想→過去の実績、傾向を見て予想

パドック、返し馬→現在の状態を見て予想

「過去・現在を見る予想」も突き詰めれば素晴らしい予想法になると思います。僕自身もやっているのだから否定するわけではありません。

ただし、「過去・現在を見る予想」は他の人とかぶる可能性が高いんです。馬柱の近走に「1着、3着、2着、2着」なんて文字があったら、買いたくなりますよね？ それが人間の心理というものです。

しかし、競馬予想は競馬ファンとの資金の奪い合いです。奪い合いなのに、予想がかぶっていたら元も子もありません。だから、かぶる予想法というのは好ましくないんです。

特に最近ファンが玄人化しているので、前走明らかな不利があった馬なんかは人気になりやすい。だから「過去・現在を見る予想」は限界があると思うんです。データ予想なんか特に。一方、血統は……

未来を見る予想

なんですよ。その馬が秘めたポテンシャルが分かるので、「前走負けていてもこの血統ならパフォーマンスを上げるはず」という予想が立てられる。周りとも味違った予想ができる。それって面白いと思いませんか？

最近血統予想の権威でいらっしゃる亀谷さんのテレビ出演の機会も多くなり（笑）、血統予想がメジャー化してきているんですが、まだまだ妙味のある予想法だと思います。

何より前走大敗している馬が走ることを見抜けたら、楽しいじゃないですか！

サッカーだって、メッシやC・ロナウドがうまいのは誰だって分かります。彼らを見て楽しむことを否定するつもりはありません。ただ、よりコアな楽しみ方をするなら、下部組織から上がってきた選手に焦点を当てたいじゃないですか？ そのほうが「俺、あの選手、ユースの頃から見ててき」って自慢できますし。

まあそういう自慢をすると嫌われがちなのでやめたほうがいいでしょうが（笑）、楽しみ方としてはかなり魅力的だと思いませんか？

- ・ 競馬への理解が深まる
- ・ 血統背景を知れば競馬がもっと楽しくなる
- ・ 未来を開拓できる予想法

血統予想をオススメする理由は、そんなところですね。

第2章 血統予想の基礎講座～魅力と欠点～

血統予想は適正比較である→日本人とジャマイカ人

血統予想を始めたい方は以下の2つを頭に入れておいてください。この2つが理解できていないと、血統予想で勝つことはできないからです。

- ・血統予想はポテンシャルを見抜く予想法である
- ・血統予想は適正比較である

その馬がどんな条件で走ると最高のパフォーマンスを示すかについて、血統を通して予想するのが血統予想です。「前走、東京のマイル戦で10着に負けているけど、中山の1800mならパフォーマンスを上げてくるはず」といったことを血統から導き出すわけですね。

あるいは「この馬は前走阪神で2着だけど、今回京都に替わるからよくない」というように「得意な条件」や「苦手な条件」を血統から予測して適正を比較します。

よって、「キャリアが浅くて秘めた才能を示していない馬」や「得意の条件を使われてこなかった馬」がいた場合、強力な予想法となります。

例えばあなたが陸上100mのコーチになったとしましょう。金メダリストを育てることが目標だった場合、あなたが指導したいと思う選手はどちらですか？

- ・自己ベスト10秒05の日本人（18歳）
- ・自己ベスト10秒20のジャマイカ人（18歳）

タイムだけ見れば速いのは日本人の方です。心情的にも日本人選手を育てたいところかもしれませんが、現実的に考えて、金メダルに近いのはジャマ

イカ人の方でしょう。日本人はオリンピックや世界陸上でファイナルにすら進んだことがありません。一方、ジャマイカからはウサイン・ボルト選手を始めとして、数々の名スプリンターが出ています。

今の成績にとらわれず未来を予測する予想法

それが、血統予想の根幹にある概念です。

ただし、欠点もあります。

「適正比較」なので、「能力比較」を行うことができません。絶対能力の差があった場合、血統だけで覆すことは難しいんです。いくらゴールドシップが東京や京都を苦手にしていただけ、500万条件にいるようなディープインパクト産駒に負けるはずがないですからね。

末續慎吾選手のように、日本人からも傑出したスプリンターが出ることはあります。よって、出走馬の能力に開きがありすぎるレースや、才能の使いどころが分かりきった高齢馬が集まるようなレース（=未来が予測しつくされたメンバー）の予想には適していません。

以下、主な予想法を比較してみました。それぞれ合った条件、合っていない条件があるので、これを理解した上で血統予想を勉強していきましょう。

競馬予想法比較					
	血統	タイム・能力(指数)	調教	データ	パドック・返し馬
適正比較	◎	△	△	×	△
能力比較	△	◎	○	△	○
状態比較	×	○	◎	×	◎
レース傾向比較	○	×	△	◎	×
穴馬発掘法	◎	△	○	△	△
2、3歳限定戦	◎	△	◎	△	○
重賞	○	◎	○	○	△
古馬条件戦	△	◎	○	○	△

第3章 実践的血統学～4つのメソッド～

血統予想というのは大まかに分けると4つのメソッドがあります。

- ・種牡馬を知る
- ・重賞など特定のレースの好走血統を知る
- ・コース傾向を知る
- ・馬場傾向を読む

一つ一つ、見ていきましょう。

メソッド① 種牡馬を知る

個々の種牡馬の特徴をつかむことが血統予想の“王道”です。

- ・ディープインパクト産駒は昇級戦に強い
- ・ステイゴールド産駒は内枠だと期待値が上がる
- ・ハーツクライ産駒は重賞の1番人気だと勝ち切れない

などなどですね。1頭の種牡馬を極めることができれば、それだけで勝てるようになります。前走1着で重賞初挑戦のディープインパクト産駒だけ勝っていれば大体当たりますからね（笑）。

よって、これが血統予想の基礎になります。

ただし、いわゆる“マイナー種牡馬”はサンプルが少なく、傾向をつかみにくい場合があります。なので、強力な予想法ではありますが、これだけですべてのレースを当てることは難しいわけですね。

メリット

→1頭の種牡馬を極めれば競馬で勝てる

デメリット

→サンプルの少ない種牡馬の傾向をつかみにくい

メソッド② 重賞など特定のレースの好走血統を知る

そこで登場するのがレースの特徴をつかむ予想法です。重賞など、毎年同じような条件で走るレースは血統傾向に偏りが出ます。それを加味して予想することで、激走馬が見えてくるわけです。

- ・ダービーはダービー馬の産駒が中心
- ・有馬記念はとにかくステイゴールド産駒が買い
- ・七夕賞はひたすらニジンスキーの血を持つ馬を狙う

といった具合ですね。

ただし、重賞になると明らかな血統の偏りは新聞などでも大きく取り上げられますから、人気になる傾向にあります。その点は注意したいですね。

メリット

→傾向が出やすく、狙いやすい

デメリット

→狙いやすいがゆえに人気に反映されやすい

メソッド③ コース傾向を知る

過去数年の傾向を集計して、各コースで特定の血統の産駒が激走していないかを調べる方法ですね。

- ・ 東京 1800m のフジキセキ、メイショウサムソン
- ・ 新潟 1000m の父ノーザンダンサー系
- ・ 阪神芝 1400m のグレイソブリン系

などなど、特定の血を持つ馬がやたら走るコースは多いです。「前走 2 秒差の負け」みたいな馬が平気で巻き返してきますから、チェックしておいて損はありません。

ただこの方法は血統予想というよりデータ予想に近いので、集計がしやすく、人気になりやすいデメリットがあります。また、過去数年のデータに基づく理論のため「今の馬場」に対応できないケースが多いです。その点は注意しましょう。

メリット

→特定の種牡馬や系統をチェックすることで簡単に馬券に反映できる

デメリット

→データ予想に近く、人気しやすい

→今の馬場に対応できない

メソッド④ 馬場を読む

最後にして一番大事なのが「馬場を読むこと」です。馬場に明らかなバイアス（偏り）が生じていれば、特定の血を持つ馬がまとめて激走します。「その血を買っていれば自動的に当たる」ような状態になるわけですね。

“血統のトレンド”をつかむことは「どんな種牡馬、系統を買えばいいのか」という血統予想の根幹に関わってくることなので、常に血統傾向を読む意識を持っていきましょう。

ただし、トレンドをつかむことはとても難しいんです。土曜日と日曜日で馬場が一変するようなことも珍しくありませんからね。天気によっても変わりますし。

あまりトレンドを追い過ぎても“後追い”になって逆に当たらないこともありますから、そのあたりは他のファクターとのバランスを考えて、取り入れていくべきでしょう。

メリット

→特定の血を持つ馬がまとめて走りやすく、爆発力がある

デメリット

→馬場が一変すると全く当たらなくなる

第4章 系統まとめ～サンデー系など～

競馬には主に3つの要素があります。「スピード」、「スタミナ」、「パワー」ですね。系統別に優れた能力、劣った能力がありますから、そのレースで求められる能力に応じた血統を買っていくことで的中へと近づいていきます。

ここでは系統別に各血統の特徴をつかんでいきましょう。

サンデーサイレンス系

主な種牡馬…ディープインパクト、ハーツクライ、ステイゴールド、マンハッタンカフェ、ゼンノロブロイなど

日本競馬を席卷する血。今や絶対に欠かせない一大系統として地位を確立しました。その特徴はなんといっても類まれな瞬発力にあります。一瞬の加速力で他馬を抜き去る能力では間違いなく世界一の系統です。

予想をする上では系統で見るより、種牡馬個々の特徴を重視した方がいいでしょう。いまやほとんどの馬がサンデーの血を持つ時代なのでね。

【スピード】瞬発力 AA／持続力 B

【スタミナ】 C

【パワー】 C

キングマンボ系

主な種牡馬…キングカメハメハ、キングマンボ、キングズベスト、ワークフォースなど

サンデー系と双璧をなす瞬発力血統ですね。日本ではキングカメハメハがダービーを勝っています。スピードに優れている一方、サンデー系よりパワーがあってダートをこなす馬も多いのが特徴です。

【スピード】瞬発力 A／持続力 B

【スタミナ】 C

【パワー】 B

ミスタープロスペクター系

主な種牡馬…アドマイヤムーン、サウスヴィグラス、スウェプトオーヴァーボード、プリサイスエンドなど

世界の主流血統の一つ。主に米国のダート競馬に強く、底知れないパワーを秘めています。当然、ダート戦に強いですが、日本の芝だと瞬発力が足りなくてキレ負けする傾向に。

【スピード】瞬発力 C／持続力 B

【スタミナ】 D

【パワー】 A

ノーザンダンサー系

欧州型ノーザンダンサー系（サドラーズウェルズ系、ニジンスキー系、リファール系など）

主な種牡馬→メイショウサムソン、オペラハウス、ホワイトマズルなど

世界の主流血統の一つ。サドラーズウェルズやニジンスキー系は欧州のスタミナ競馬を得意としています。日本でもスタミナを問われる条件が大得意。反面、瞬発力がないので、重賞クラスになると頭打ちになることが多いですね。

【スピード】瞬発力 D／持続力 C

【スタミナ】 A

【パワー】 B

米国型ノーザンダンサー系（ヴァイスリージェント系、ストームキャット系など）

主な種牡馬→クロフネ、フレンチデピュティ、ストームキャットなど

こちらはダート適正が高いタイプ。日本ではクロフネやフレンチデピュティが知られています。欧州型よりスピードとパワーがあり、スタミナでは劣るという特徴を持っています。

【スピード】瞬発力 C／持続力 C

【スタミナ】 C

【パワー】 A

万能型ノーザンダンサー系（ダンジグ系）

主な種牡馬→ハービンジャー、デインヒル、コマンズ、チーフベアハートなど

凱旋門賞馬ケープクラス、スプリント大国の豪州で種牡馬として大成功したデインヒル、ダート競馬で活躍したチーフズクラウンやアジュディケーティングなど、オールマイティな活躍を見せる系統です。

各能力のバランスがよい万能型で、どんな競馬にも対応できる強みがあります。

【スピード】瞬発力 C／持続力 B

【スタミナ】 B

【パワー】 B

ロベルト系

主な種牡馬…シンボリクリスエス、ブライアンズタイム、スクリーンヒーロー、グラスワンダーなど

すべての能力に優れた万能種牡馬。天才を出すことは少ないですが、秀才タイプが数多く出ています。芝・ダート、長短距離、良・道悪馬場、すべての条件でGI馬を出しています。

【スピード】 瞬発力 B／持続力 B

【スタミナ】 B

【パワー】 B

ヘイロー系

主な種牡馬→タイキシャトル、ローズインメイ、メイショウボーラーなど

もともとはサンデーもこの系統ですね。芝よりダートのパワーが求められる条件が得意。あとは比較的短距離で活躍馬を出しています。

【スピード】 瞬発力 B／持続力 C

【スタミナ】 D

【パワー】 B

ナスルーラ系

グレイソブリン、ボールドルーラー、プリンスリーギフトなどかなり細かく枝分かれしています。総じてスピードの持続力に秀でているので、長くいい脚が求められる条件で台頭してくる血統ですね。

グレイソブリン系

主な種牡馬→ジャングルポケット、チチカステナンゴなど

芝適性の高い系統です。ジャングルポケットは天皇賞春馬を輩出、チチカステナンゴは欧州のGI馬なのでスタミナが豊富。一方、ダート適性はあまり高くありません。

【スピード】瞬発力 B／持続力 B

【スタミナ】 A

【パワー】 C

ボールドルーラー系

主な種牡馬…シニスターミニスター、パイロなど

こちらはダート適性が高い米国型のナスルーラ系ですね。アメリカの3冠馬が出ている血統なので、パワーに優れています。芝よりダート戦で買いたい血統ですね。

【スピード】瞬発力 C／持続力 B

【スタミナ】 C

【パワー】 A

プリンスリーギフト系

主な種牡馬→サクラバクシンオー、ショウナンカンパなど

芝適正に優れたスピード溢れる系統です。スプリント王サクラバクシンオーなどが出ていて、短距離で活躍する馬が目立ちます。反面、ややスタミナに欠ける部分あり。

【スピード】瞬発力 A／持続力 B

【スタミナ】 D

【パワー】 C

ネヴァーベンド系

主な種牡馬→パラダイスクリーク、コンデュイットなど

スタミナ型のナスルーラ系。ただしグレイソブリン系に比べるとスピードがないため、日本だと活躍できる馬に限られます。コンデュイットも成功することなく、欧州へ帰ってしまいました……。

